

(仮称)第一期鳥取市学校給食センター整備計画(素案)に係る市民政策コメントに寄せられた意見及び意見に対する本市の考え方

■意見募集期間:令和5年7月10日(月)~31日(月)

■意見応募者:14名

■意見総数:17件

お寄せいただきましたご意見に対する考え方は次のとおりです。

貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

番号	該当箇所	御意見等の概要(提出された意見を内容ごとに区分し表示しています)	意見等に対する本市の考え方
1	施設・設備の設計について	見学通路の整備も考えられているとのこと。とても重要だと思う。子ども達が、直接見て、感じることできるこのような機能は、しっかりと作って欲しい。	頂いた御意見も含め、施設・設備等の仕様の詳細については、今後、設計段階で検討してまいります。
2		学校給食は主役である児童・生徒へ「楽しく」かつ「美味しい」給食を提供することが大事ですが、併せて安全で安心な給食を提供することが肝要。そのような給食が提供されますよう、最適かつ高質な施設・設備の設計および厨房・調理機器の選定が最も重要である。 また食育推進の観点から、見学コーナーやWeb対応の設備機能などをもった食育の拠点施設となることも大いに期待している。	
3		生徒だけでなくPTAや地域の方にも、より学校給食を理解していただくために、調理風景を見学できるような見学通路、見学コーナーを是非作っていただきたい。	
4		勤務志望者にとっては駐車場の有無も重要な志望理由を占めていますし、安定的な従業員確保に駐車場は欠かせないもの。 従業員駐車場の確保を是非検討していただきたい。	
5		調理受託会社に意見を求めることは必須。連携連帯ができないのだろうか。 この度の大雨で冠水していたが、職員が出勤出来ないことが想定されるのではないか。 2献立となると、単純に倍の職員、設備が必要ではないかと考えるが、職員の駐車場が少ないと思う。近隣に駐車場がないことから働き手がいらないのではないか。 温暖化による猛暑となっている。センター内、特に作業場の温度管理は人の命にかかわる問題。この事は、雇用者ではなくセンター設置者の責任であると考えますので働く人に優しいセンター建設を望む。	
6		運営や維持管理業務の意見を反映できるように、現在の担当者や事業者等に協力を要請する等、現場の意見を聴取して設計に盛り込んでもらいたい。 また、建設後の運営・維持管理が安定的に遂行できるように現場の意見を取り込み、要求水準を設計等と共有することが、新給食センターの長寿命化や、将来の維持管理コストの削減にもつながると思う。	

番号	該当箇所	御意見等の概要（提出された意見を内容ごとに区分し表示しています）	意見等に対する本市の考え方
7	施設・設備の設計について	<p>窓からは、日光が入り、夏季など施設内の温度が高くなることが想定されます。窓の設置にあたっては、日光の入る方向や面積を考慮されたい。必要に応じて、遮光設備も設けられたい。</p> <p>冬は水道管が凍結し、給水が停止され、調理業務ができない事例が過去に他所でありました。冬季でも給水が確保できるよう対策されたい。</p>	<p>頂いた御意見も含め、施設・設備等の仕様の詳細については、今後、設計段階で検討してまいります。</p>
8		<p>HACCPや労働安全衛生にも配慮し、将来にわたって安定的に給食事業を実施できるように先進機器等の導入を検討して頂きたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電解水を導入し洗浄、消毒に活用 ・lotを活用した記録保存システムの導入 ・器具や機器の自動洗浄、消毒、殺菌 ・入退館、入室等セキュリティ管理 ・省人化・オートメーション化の検討 等 	
9		<p>熱源供給について多重安全の機能確保の観点から重油や電気またはガス等の併用は必要であるとする。ガスの場合、都市ガスとLPガスがあるが、大地震や道路陥没にともなうガス管の損傷などの緊急時災害時等においてもLPガスの方が機能が発揮され、バルク供給方式を入札等で調達することで、より効率的で単価を抑えられる。</p> <p>給食センターでは、災害時などの緊急事態用に長期間保存食品等を仕入れる必要がある。そのため、大量保管場所の倉庫として、天井裏（屋根裏）の空間を最大限有効利用すべきではないか。</p> <p>また、重量物の保存用空間として地下室空間の有効利用もできるのではないか。</p> <p>調理員と栄養士等と同時に直接情報交換できる機能を随所に設けるべきと考える。これにより効率的に調理の進捗、外部からの緊急情報等について極めて効率的に把握が可能。</p> <p>事務所から調理の進捗情報等を確認できるカメラ、外部に向けてのセキュリティーカメラを設置すべきではないか。</p> <p>残菜量の計量をスピーディなデジタル化での記録方式を希望する。</p> <p>調理員が調理場に入る際は、手洗い等の消毒洗浄が同時にできるように動線上に位置を決めてほしい。</p> <p>供給電力は単一供給でなく、多重安全機能を確保するため、発電装置や太陽光蓄電装置を設置し、緊急時と災害時にも使用することが重要。</p> <p>効率的運搬のため、地下F-1F-2F-屋根裏Fをつなぐ物資専用エレベーターを希望する。</p> <p>調理員の調理場での熱中症予防や労働環境保全のため、全館冷房装置設置が理想。</p> <p>生産工程を詳しく分析し、運搬や加工、清掃についてロボットの導入が可能かどうか検討しては。</p> <p>脱炭素化が強く叫ばれる中、効率的なエネルギーの利用が求められている。蓄電池や太陽光発電・温水設備を利用することも検討してほしい。</p>	

番号	該当箇所	御意見等の概要（提出された意見を内容ごとに区分し表示しています）	意見等に対する本市の考え方
10	応募要件について	設備の難易度が高い建築物でもある様であり、ドライシステム、HACCPの概念を取り入れた施設を経験した実績のある地元企業に発注すべき。運営についても、地域経済の循環及び雇用の確保の観点からも、地元企業に発注してほしい。	頂いた御意見も含め、応募要件については今後検討してまいります。
11		「快適」で「安心」かつ「安全」な給食を「安定」して提供していくために、地元の各専門企業の対応力が欠かせません。厨房機器（調理機器）の納入や保守点検にあたっては、地元専門企業による対応をご検討いただきたい。	
12		大変大きな事業となるので、技術のある地元事業者が参画・選定されやすい手法を是非検討してほしい。設計、建設、維持管理、調理運営、配送等のあらゆる分野で地元事業者の成長機会に繋げ、地元雇用が安定し、経済が好循環するように計画してほしい。	
13	建設予定地について	まだ南北線が都市計画決定されていないようですが、決定された後で敷地形状が大幅に変わることはないか。	新たな学校給食センターの整備用地については、南北線の都市計画決定に影響の無い範囲の中で検討しております。
14	今後の整備について	二児の娘を持つ保護者として、給食センターの整備が一刻も早く進む事を期待しています。特に、アレルギー対応について、より安全安心な対応が可能になることはとても重要だと思っています。 このたび、第1期とのことですが、残る6つのセンターについても、少しでも早くアレルギー対応が可能な専用調理室のある施設への建て替えが必要だと考えます。可能な限り、次の新しい給食センターの整備を速やかに進めてください。	他の学校給食センターについても、可能な限り早期に整備できるよう、取り組んでまいります。
15		自分の住んでいる地域はこのたび新しく整備される給食センターの対象の校区ではない。今回のセンター整備でも凄く時間がかかっているようだが、次の新しく整備されるセンターにはどれほどの時間がかかるのだろうか。家の近くにも給食センターがあるが、とても老朽化していると思う。	
16	その他	施設も広大になり、「アレルギー専用調理室」や「2献立制の調理」といった従来の施設になかった取り組みも行う計画となっている。 今回の整備計画（素案）では施設設備を運用するために必要な人員や工程等のモデルプランが示されていないため、施設設備や実施計画等の案について、充分であるか不足であるか判別がつかない。 整備計画（素案）の基となっているモデルプランがあると思うので、正式な整備計画案を作成する際には「献立に対する工程（手作り主体か二次加工主体）」や「従業員体制と配置人員」等についても記載してほしい。	本整備計画は、素案P1に記載のとおり、建設用地、整備内容、事業手法等を定めるものです。 運営内容については引き続き検討してまいります。
17		老朽化が著しい、第一学校給食センターと湖東学校給食センターの受配校に提供する北部エリアの給食センターの整備計画が決定しましたことを歓迎致します。 「安心安全」で「地産地消」の給食センターが整備されていきますことを切に望んでいます。	引き続き、安全・安心な学校給食が長期にわたり安定供給できるよう努めてまいります。